

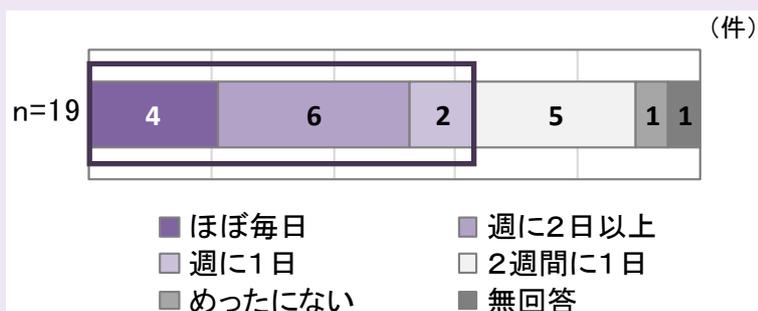
### 3-3 各種調査の実施状況

#### (1) 町内路線利用者ニーズ把握調査

町内を運行する町営バス（市街地コミュニティバス及び予約制バス）の車内において、利用者を対象に調査を実施しました。実施概要と主な調査結果を以下のとおり整理します。

表 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-1 町内路線利用者ニーズ把握調査の概要

調査対象	白糠コミュニティバス、庶路・西庶路コミュニティバス（予約制バス含む）の利用者
調査期間	令和5年9月20日から10月31日まで
調査方法	バス車内にアンケート票を留置きし、返信用封筒を投函いただき回収
調査項目	利用者属性（性年代等）、町営バス利用状況、町営バスに求めること
回収数	38件



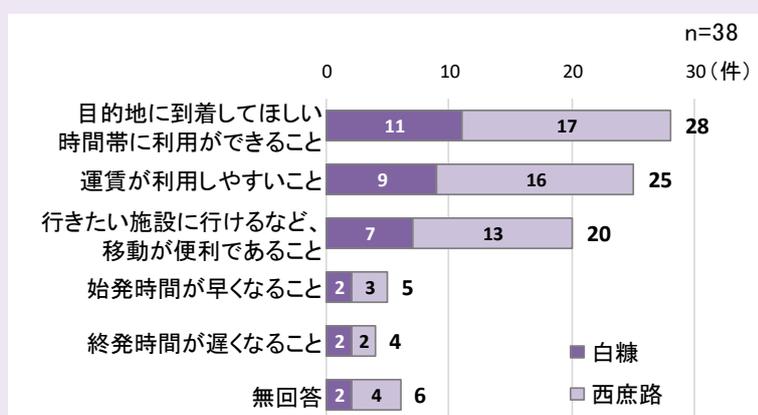
#### ●町営バスの利用頻度

「週に1日以上」より利用頻度が高い方の割合が、6割程度となっており、町営バスが公共交通として町民の生活交通を支えていることが分かります。



#### ●今後5年間の利用意向

「使い続けると思う」と回答した方の割合が6割を超えており、町営バスの維持が今後の重要な取組となることが示唆されます。



#### ●町営バスに求めること

「目的地に到着してほしい時間帯に利用できること」が最も多く、次いで「運賃が利用しやすいこと」と続いています。今後も利用者の利便性を念頭に運行の見直しを継続的に実施することが重要です。

図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-1 町内路線利用者ニーズ把握調査の主な結果

## (2) バスターミナル利用者調査

白糠駅前バスターミナルにおいて、利用者を対象に調査を実施しました。実施概要と主な調査結果を以下のとおり整理します。

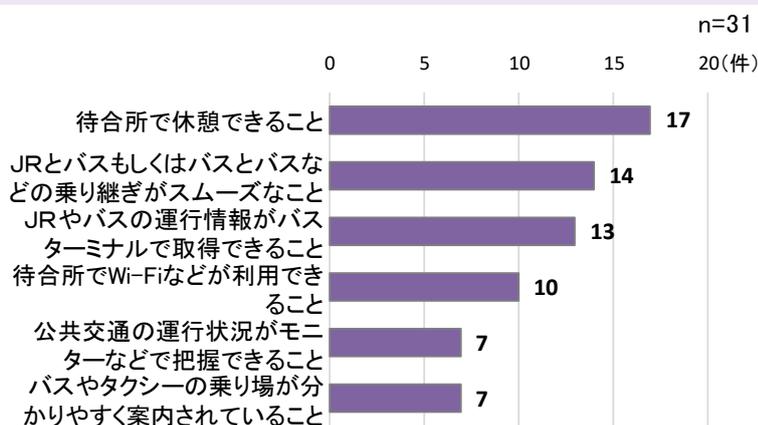
表 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-2 バスターミナル利用者調査の概要

調査対象	白糠駅前バスターミナルの利用者
調査期間	9月20日(水) 6:00~23:30
調査方法	バスターミナルにて調査員により調査票配布し、返信用封筒を投函いただき回収
調査項目	利用者属性(性年代等)、移動実態、町営バスに求めること
回収数	31件



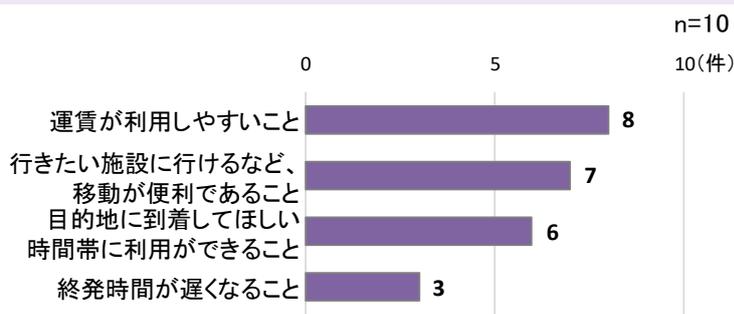
### ●バスターミナルの利用頻度

「週に1日以上」より利用頻度が高い方の割合が、5割程度となっており、バスターミナルが公共交通結節点として町民の生活交通を支えていることがわかります。



### ●バスターミナルに求めること

「待合所で休憩できること」が最も多く、次いで「JRとバスもしくはバスとバスなどの乗継がスムーズなこと」と続いています。現在推進している白糠駅前広場整備事業において、町民のニーズを捉えた計画を検討し、町民の地域公共交通の利便性向上を図ります。



### ●町営バスに求めること

「運賃が利用しやすいこと」が最も多く、次いで「行きたい施設に行けるなど、移動が便利であること」と続いています。今後も利用者の利便性を念頭に運行の見直しを継続的に実施することが重要です。

図 エラー! 指定したスタイルは使われていません。-2 バスターミナル利用者調査の主な結果